

「石見銀山遺跡とその文化的景観」

世界遺産登録15周年記念講演会

― 未来へつなぐ石見銀山の価値と魅力 ―

【基調講演】

世界遺産としての石見銀山
～その今日的意義～

講師：近藤 誠一 氏

近藤文化・外交研究所代表

1972年外務省入省

石見銀山遺跡の世界遺産登録時には
中心的な役割を担った



11 / 20 (日) 13:00
12:30 開場

会場：あすてらすホール

参加費：無料

定員：140名

※事前申込が必要です。詳細は裏面をご覧ください。

主催：特定非営利活動法人石見銀山協働会議・大田市・大田市教育委員会

お客様に安心してご来場いただけるよう、感染症対策へのご協力をお願いします。ご来場の際にはマスクの着用をお願いします。37.5度以上の発熱、咳など風邪症状のあるお客様や体調のすぐれないお客様は来場をご遠慮ください。当講演会でいただいた情報は、当事業と新型コロナウイルス対策に関してのお知らせのみに使用します。

「石見銀山遺跡とその文化的景観」

世界遺産登録15周年記念講演会

—未来へつなぐ石見銀山の価値と魅力—

日時：11月20日（日）13時開始 12時30分開場

会場：島根県男女共同参画センター あすてらすホール
（島根県大田市大田町大田イ 236-4）

プログラム

【報告】

1.石見銀山遺跡の調査研究の現況

報告者：大田市教育委員会 石見銀山課

2.石見銀山基金活動の成果

報告者：

大田市内小・中学校
桜江古文書を現代に活かす会
大田市文化協会
石見銀山研究会

【基調講演】

世界遺産としての石見銀山

～その今日的意義～

講師：近藤 誠一 氏

近藤誠一氏プロフィール

近藤文化・外交研究所代表。1946年生。東京大学教養学部教養学科卒、1972年外務省入省。広報文化交流部長などを経て、OECD（経済協力開発機構）事務次長、国際経済担当大使、ユネスコ大使、駐デンマーク大使。2010年文化庁長官。退官後東大特任教授等を務めたほか、国際ファッション専門職大学学長、長野県、京都市、横浜市の文化関係財団理事長、人文知応援フォーラム共同代表等を務める。レジオン・ドヌール・シュバリエ章（仏2006）、平成28年瑞宝重光章受賞。『外交官のアラカルト』、『近藤誠一全集-I』等著書、論文多数。

「石見銀山遺跡とその文化的景観」に登録延期の方針が示された際、**交渉の最前線に立ち逆転の世界遺産登録**に導いた。

お申込方法

事前申込みが必要です。※申込み〆切：11月15日（火）

電話・FAX・Eメールで下記までお申込みください。

右下のQRコードからもお申込みが可能です。

【申込先】

■大田市教育委員会石見銀山課

電話：0854-83-8131 FAX：0854-84-9156

Eメール：o-iwamigin@city.oda.lg.jp

■特定非営利活動法人 石見銀山協働会議

電話：0854-88-9123 FAX：0854-88-9124

Eメール：info@ginzan-npo.jp

